

「生産性向上への攻めの産業保健（衛生）への転換」 - 最重要の経営資源である人的資本への投資の費用対効果の可視化 -

小澤 正彦

株式会社損害保険ジャパン 理事、リスク管理部 部長

「企業経営におけるメンタルヘルス対策の必要性」に、異を唱える経営者はほとんどいなくなりました。しかしながら、その動機は、依然として「法令遵守」や「リスク管理」が主流です。

サービス産業が、80%を超えたとも言われる我が国の産業構造からも、産業保健（衛生）活動への経営者の期待は、必要最低限の法令順守から経営リスクの防止・管理を超えた、継続的な業績の向上への明確な貢献に移行していくものと推察されます。

人的資本に対する「戦略的な健康投資」として、「労働生産性」や「エンゲージメント」の向上に貢献する産業保健（衛生）活動としてのメンタルヘルス対策と「投資対効果の可視化」への取組みをご提案します。